

デンソースポットクーラー

15H-K, 20H-K 据付工事要領書

本書は、デンソースポットクーラー『15H-K, 20H-K』の据え付け要領について記載してあります。据え付け前に、必ずお読みいただき正しく安全に作業を行ってください。

1 キット品番と構成部品

1. キット品番

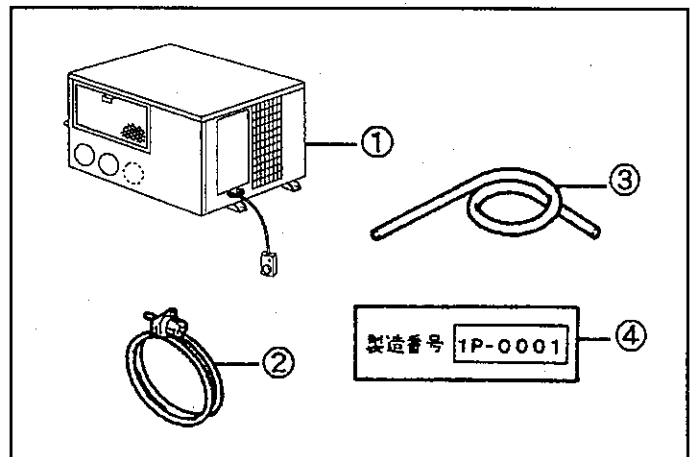
機種	キット品番
15H-K	484000-446*
20H-K	484000-304*

2. 構成部品

構成部品を確認してください。

図番	品名	個数	チェック
1	本体	1	
2	クランプ	2	
3	ドレーンホース	1	
4	コーションプレート (製番)	1	

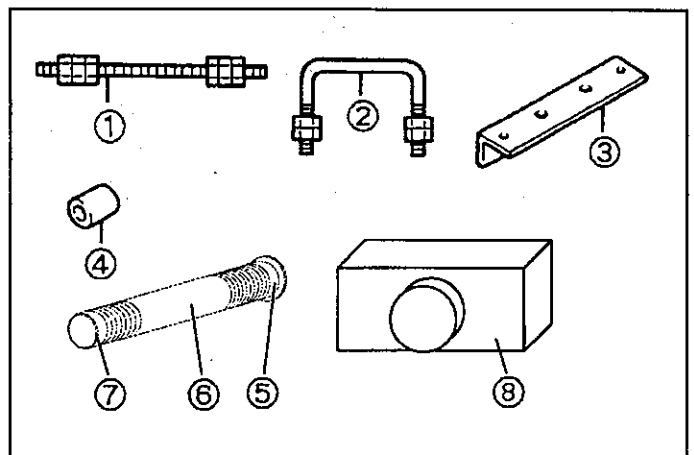
(注) 図番4は、必要に応じて据え付け工事完了後に本体の見易い位置に張り付けてください。



3. 手配部品

各種アタッチメントが設定されていますので、据え付け場所に応じて手配してください。

図番	アタッチメント	必要数	備考
1	全ねじボルト	1セット	ナット付き
2	Uボルト	1セット	ナット付き
3	ブラケットセット	1セット	
4	絞りノズル	1個	ドレーン用
5	フランジ	各2個	
6	ダクト	(15H-K) 各3個	
7	トリム	(20H-K) 各3個	
8	チャンバー	1個	



(注) オートローター、オートスインガーなどのオプション品の取り付けについては、各オプション品に同梱されている「取付要領書」を参照してください。

2 取り付け要領

- 安全に取り付けを行うために、下記のことを必ずお守りください。
ここに示した注意事項の表示と意味は、次のようになっています。



警告

誤った取り付けにより、死亡や重傷などの重大な事故に結び付く可能性が大きいもの。



注意

誤った取り付けにより、障害を負う可能性、または物的損害の可能性のあるもの。状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。



警告

・据え付けは、お買い上げの販売店または、専門業者に依頼してください。
絶対にご自分で据え付けは行わないでください。
本体落下やけがの原因になります。



1. 据え付け場所の選定



警告

・本体の据え付けは、規定の重量に耐える所に行なってください。
本体落下の原因になります。



- 据え付け場所の梁の強度は、下記重量に耐えられること。……………「チェック」
- ・ 15 H-K …………… 800 kg (本体重量 80 kg)
- ・ 20 H-K …………… 900 kg (本体重量 90 kg)



警告

・可燃性ガスの漏れる恐れのある場所や導電性粉塵のある場所への据え付けは行わないでください。
万一ガスが漏れたり、導電性粉塵が本体の周囲に溜まると、発火や爆発の原因になることがあります。

・金属を腐食させるガスや蒸気のある場所への据え付けは行わないでください。感電や発火、機器の故障の原因になります。

・本体およびリモコンは、雨のかかる恐れのある場所には取り付けしないでください。感電・漏電の原因になります。



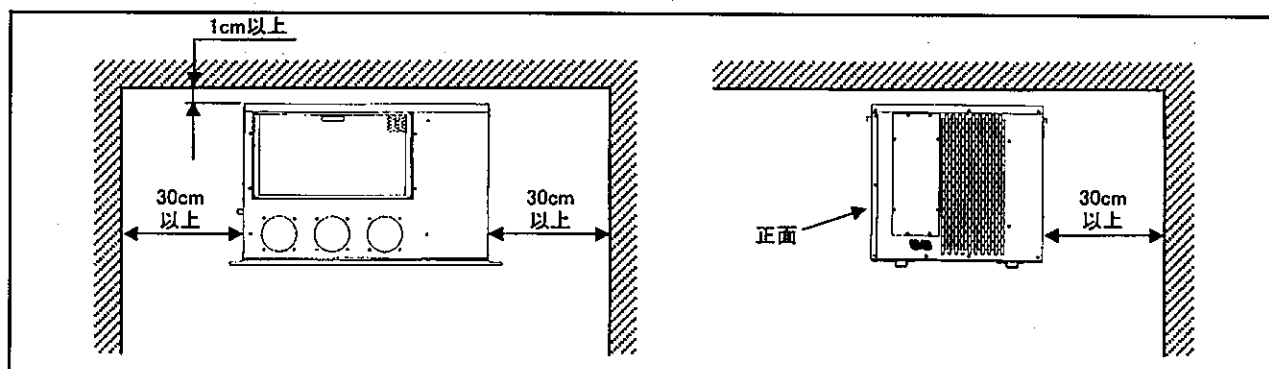
- 据え付け場所は、可燃性ガスの漏れる恐れがない所……………「チェック」
- 据え付け場所は、導電性粉塵が発生しない所……………「チェック」
- 据え付け場所は、金属を腐食させるガスや蒸気が発生しない場所……………「チェック」
- 本体は防雨仕様ではないので、軒下など直接雨がかからない場所に設置すること……………「チェック」
- リモコンは防水仕様ではないので、被水しない場所に設置すること……………「チェック」
- 据え付け場所の温度・湿度は、インスパックの連続運転可能な範囲にあること……………「チェック」

25℃・50%～45℃・50%

(注) 連続運転可能範囲外に据え付けられると、保護装置が作動して、運転が停止し正常に作動できなくなります。

2. 据え付けスペース

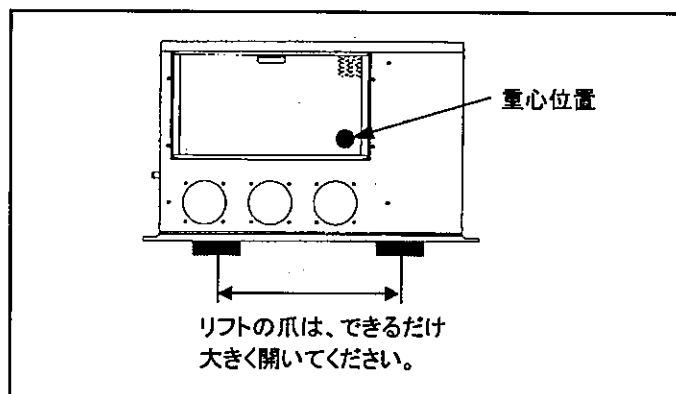
据え付けは、保守点検などの作業ができるスペース（メンテナンス スペース）および、コンデンサーの排熱風が吸い込み口に回り込まないように（ショートサーキット）据え付けスペースを確保してください。





フォークリフトで本体運搬時の転倒注意



インスパック本体の中は、最も重量の大きなコンプレッサがかたよった位置に取り付けられています。

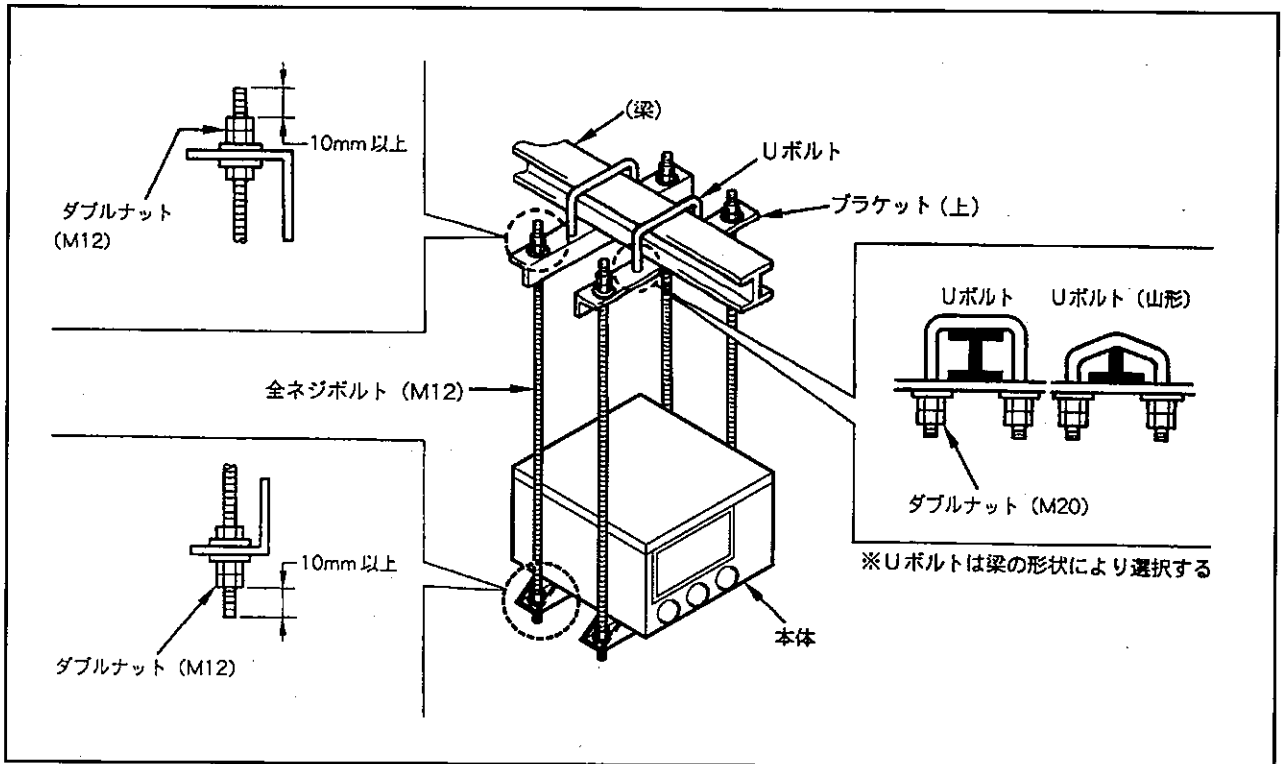
このため、フォークリフトなどで不用意に持ち上げますと、本体が転倒し、製品の破損やケガの原因になることがあります。



3. 据え付け作業

 警告	・据え付け作業は、高所作業（2 m以上）となりますので「労働安全衛生法」で定められている事項を順守し、安全に作業を行なってください。 墜落したり、物を落としたりしてけがの原因になります。	
---	--	---

 注意	・据え付け用の梁やブラケットなどを溶接する場合は、本体に火花や異物などが入らないようにしてください。 発火や水漏れの原因になることがあります。	
---	--	---



部 品	締め付けトルク
Uボルト (M20)	240 ± 48 N・m
全ネジボルト	47 ± 9 N・m

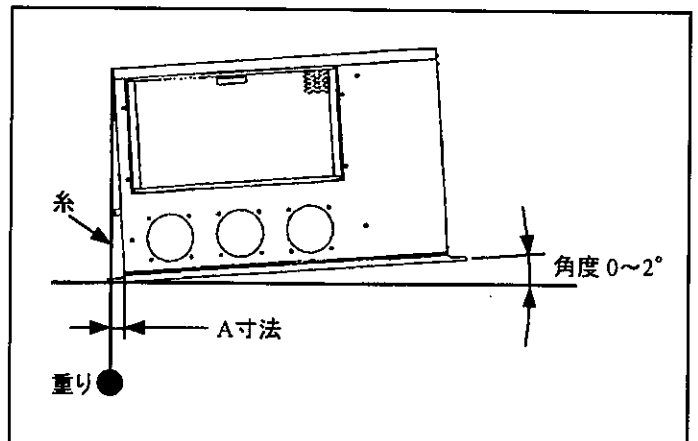
(注) ダブルナットの締め付けは、ダブルスパナを使用すること。

4. 本体の傾き

本体の傾きは、角度0～2°の範囲に調整してください。

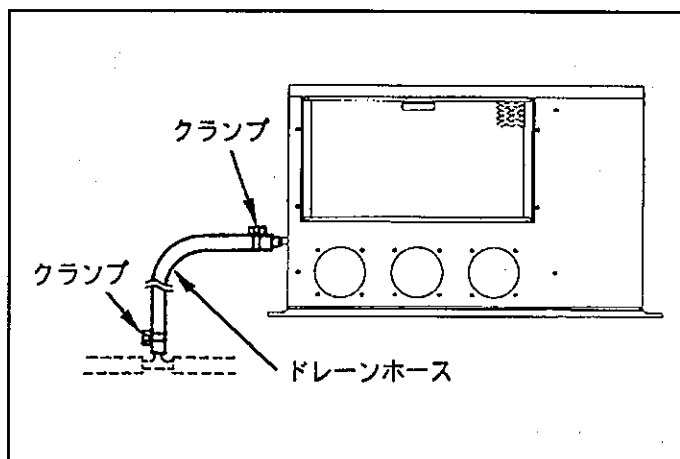
A寸法：0～19mm

(注) 水漏れや機器の故障の原因になります。



5. ドレーン配管

- (1) ドレーンホースを本体に接続し、クランプで固定する。

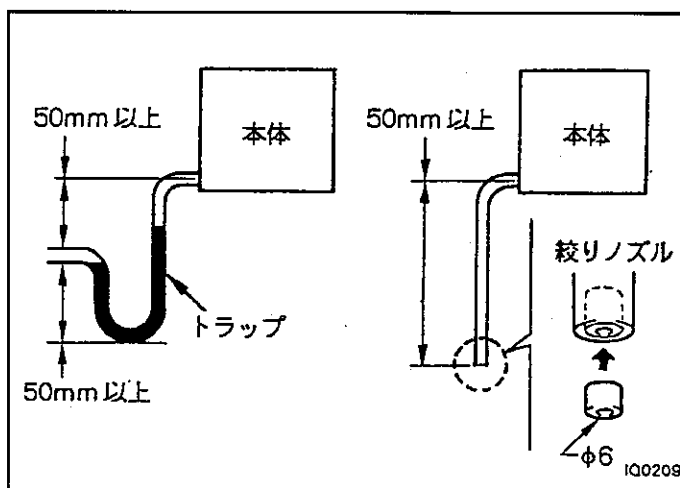


- (2) ドレーン配管は、トラップを設けるかまたは、絞りノズルを取り付けるかどちらかの方法で行ってください。

(注) 本体ドレーン排出口は、負圧になりますので、トラップまたは、絞りノズルを必ず行ってください。ドレーン水が排水されずに水位が上昇し、本体から水漏れの原因になります。

【備考】

- ・トラップは、2個以上設けないこと。
 - ・トラップ部は、ほこりが詰まる恐れがあるので、清掃ができるようにすること。
- (3) ドレーン配管が完了したら、本体に水を注入（エバポレーターのフィルターをはずして水を注ぐ）し、確実に排出することと、接続部からの水漏れがないことを確認する。

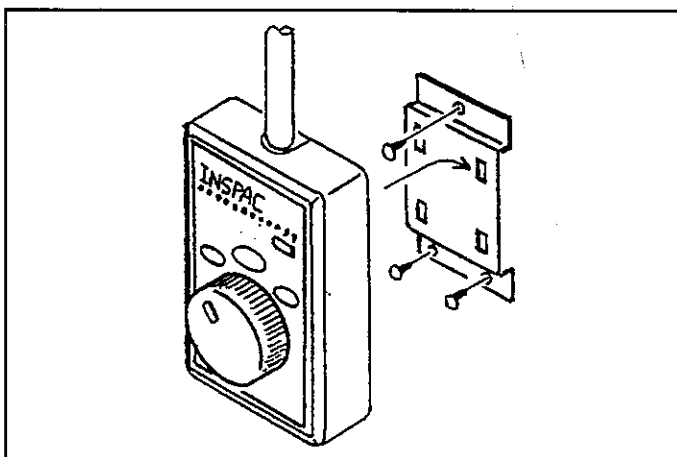


6. コントロールスイッチの取り付け

⚠ 警告

コントロールスイッチは、雨のかかる恐れのある場所には、絶対に取り付けしないでください。感電・漏電の原因になります。

- (1) 雨のかかる恐れのない取り付け場所を選ぶ。
- (2) ブラケットを柱や壁の位置に取り付ける。
- (3) リモコンをブラケットに取り付ける。



3 冷風ダクトの接続

■直吹きダクトの場合

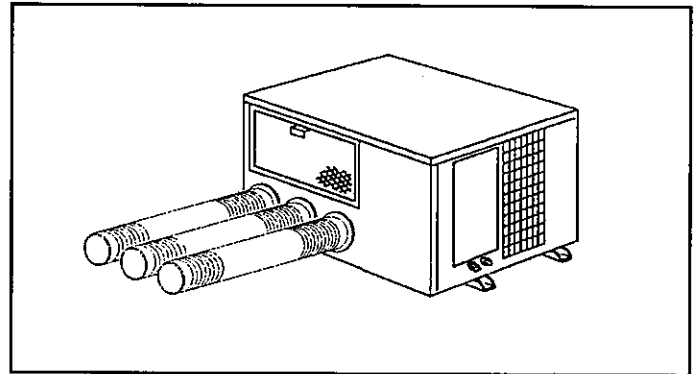
- ・別売のフランジ・ダクト・トリムを冷風吹き出し口に接続してください。

15H-K ϕ 125×2口

20H-K ϕ 125×3口

⚠注意

15H-Kは3口で使用しないでください。
故障の原因になります。

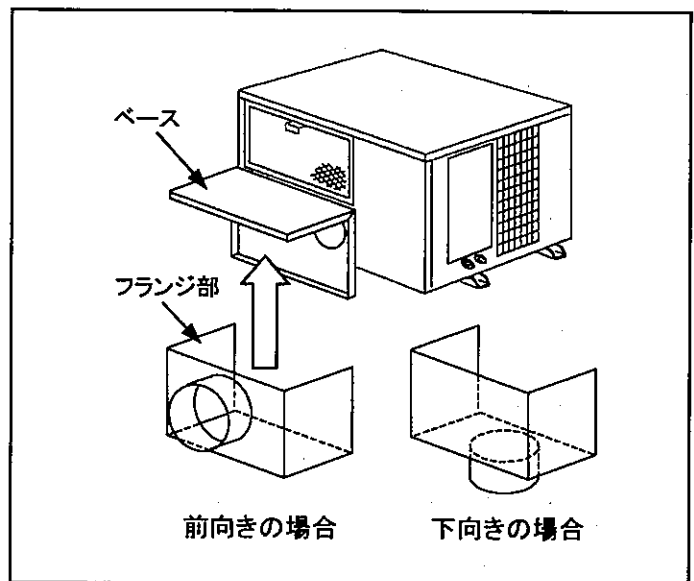


■メインダクトを接続する場合

1. 別売の集合チャンバーを冷風吹き出し口に接続してください。

- ・集合チャンバーは2分割になっています。
- ・フランジ部の取付け方によって、吹き出し方向を前向きまたは下向きにすることができます。
- ①ベースを本体に取り付けます。
- ②フランジ部をベースに取り付けます。

2. ϕ 250mmのメインダクトを集合チャンバーに接続してください。



4 作動確認

- (1) 据え付け工事に問題がないかチェックを行なってください。
- (2) 据え付け工事チェックが終わってから試運転を行なってください。
操作方法は、同梱の取扱説明書を参照して行なってください。

